

学名：Veronica
 属科：ゴマノハグサ科
 原産地：北半球に広く分布
 花期：5～10月
 草丈：20～100cm

ベロニカ Veronica

別名：ルリトラノオ

吉谷桂子さんの

ひと目惚れ花図鑑

vol.3

庭の景色にメリハリを与える スパイク状の花の代表格

イングリッシュガーデンの典型的なスタイルの一つに、ボーダー（帯状）ガーデンがあります。ボーダーには多品種の植物が植えられ、歩むごとに会おう花の、めくるめく表情や美しさの競演がたまりません。ただ、そんな眺めをつくるにはコツがあります。それが「似たような形の草花を隣同士に植えない」というルールです。もちろん、植物の高さや葉張り、横に広がる植物には、最初からすき間を与えておくなど、基本的な注意点もありますが、好きだと思えば花を端から順に植えてしまうと、似たような植物が集まって、庭の眺めがまとまりません。横に広がって咲く花を植えたなら、隣に植えるのは「スパイク状（穂状）に縦に咲く花」と覚えておきましょう。縦に伸びる植物を意識的に植えることで、その眺めや組みあわせに、すつきりとしたメリハリが生まれます。

さて、ベロニカはそんなスパイク状の花の代名詞ともいえる存在です。ただ、ベロニカには500種以上が存在し、それぞれ、さまざまな形質の品種があります。多花性の「ロイヤルキヤンドル」のように、競うように林立する尖塔のようなベロニカが庭の景色に加わると、庭がプロっぽく見えるから不思議です。また、ベロニカの種類、トウテイランは、シルバリーフと青花の美しい高温多湿に強い品種です。花のない時期も葉群がきれいなのでおすすすめ。また、一般的なベロニカとは属が異なるのですが、ベロニカストラムも鋭い穂先が魅力的で、ベロニカ同様の使い方ができます。ただし、高温多湿には弱い性質です。そんな花でも植え方や場所を工夫し、いくつもの花のスパイクをきれいに林立させるのが、花育てのゴールのようにも思えます。その第一歩に初心者にも上級者にもおすすすめなのが育てやすいベロニカです。



さまざまな宿根草の咲くボーダーガーデンにて。一際背の高いのはベロニカストラム。



よしや けいこ 吉谷 桂子

広告美術デザイナーを経て渡英。7年間のイギリス滞在経験を生かし、帰国後はガーデニングの仕事に取り組む。六本木の東京ミッドタウン「ボタニカ」、神奈川「箱根サン＝テグジュベリ 星の王子さまミュージアム」のガーデンなどを手掛ける。また、かねてからの夢であったファッションデザインでも、2014年3月にオリジナルブランドの「Shade」を立ち上げ、東京・原宿にショップをオープン。お気に入りの花や葉をモチーフにしたオリジナルのプリント生地やレース生地を使い、吉谷さん自らデザインした服や小物、また、庭作業しやすいオリジナルデザインの服などが人気を集めている。

※「Shade」の詳細情報は下記ホームページをご参照ください。
<http://shadeyoshiya.com/>

撮影・北島明 (sputnik)



点の大小で咲くエキナセア、アキレア、エリンジウムなどの中で、形質の異なるスパイク状のペロニカ「ロイヤルキャンドル」が見事なスパイスになっている。



「ロイヤルキャンドル」

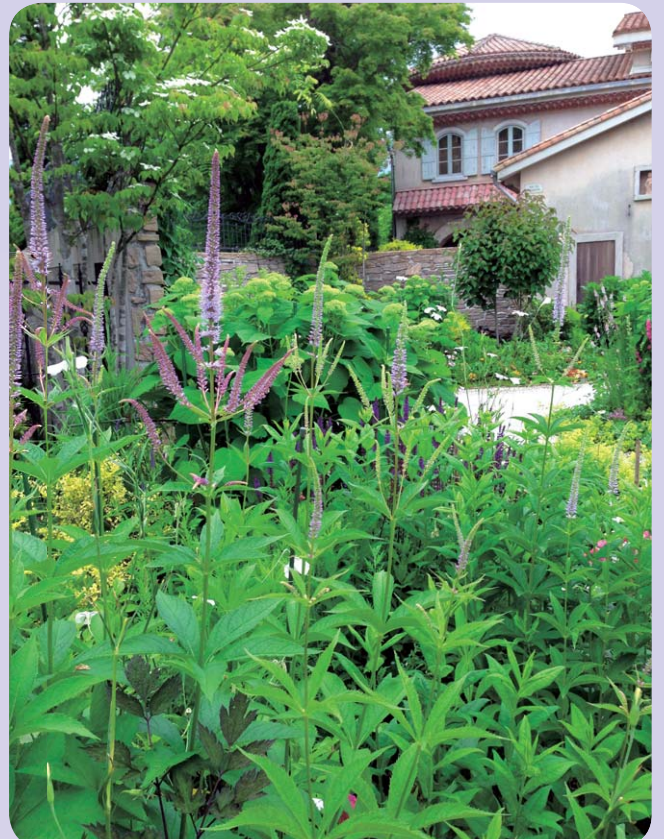
しっかりした花穂がたくさんつく品種で、花期は6～9月。草丈30～35cmと低めでコンパクトにまとまる。



ペロニカ ロンギフォリアの交配種に加え、アガスターシェなどスパイク状の花が咲き乱れるボーダーガーデン。ロンギフォリアの交配種は藤紫のほか白、ピンクの花色もある。

「グレース」

小さな花穂がかわいらしい品種で、気温が下がると葉色がシックなチョコレート色に変化するのが特徴。花期は5～6月と10～12月。草丈は40～50cm。耐寒性が強く、冬の間も美しい葉色を見せてくれるのがうれしい。写真は「グレース」を使った寄せ植え。左後方と右後方に植え込んでいる。



「箱根サン＝テグジュベリ 星の王子さまミュージアム」に咲くペロニカ ストラム。スパイク状の花が枝分かれして咲く。箱根は冷涼地で夏でも涼しいので高温多湿が苦手なペロニカ ストラムもよく咲いてくれる。

point

栽培管理のコツ

花壇でよく使われるのはロンギフォリアの交配種で、草丈が低いものから1mを越す高性種まであります。また這性のプロストラータなどもあるので、入手の際には草丈と性質をよくチェックしておくことが大切です。一般的にどの品種も耐寒性がありますが、耐暑性は品種によってはバラつきがあるので、暖地では耐暑性の強いタイプを選ぶようにします。栽培環境はなるべく日当たりがよく、風通しのよい場所が基本。これらの条件が不十分だと、せっかくの長い花穂を支える茎が倒れやすくなり、すっきりと縦長のシルエットで育ちません。初夏、バラが咲くころに美しく花を咲かせますが、早めに花穂を剪定しておくと、繰り返し咲かせることもできます。また「グレース」のように秋に再度花を咲かせる品種もあります。施肥は春と秋にするとよいでしょう。